

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2018年

3月

151号

天地皆春



宗教法人 真生会

平成三十年信仰目標

# 徳分を高める

『聞いた教えを

すぐ伝えよう！』

## 真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

### ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

# 開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

もやもやの心は晴れた。

求めていた道が開いた。

心の切り替えをするのだ。

生活に信仰を取り入れれば、勇気が湧き光が差し込む。

親は私に何もしてくれない。会社は私を認めてくれない。社会は私に応援してくれない。不平不満の「くれない族」の根性を切り替えない限り運命の好転はあり得ない。求めるより、相手に喜びを与える人となろう。

人はなぜ怒れるのか、なぜ喜べないのか。自分のわがままな心が原因を作っているのである。相手の立場に溶け込む努力をする人のみ、信用と信頼が生まれ、何をやっても楽しく思い通りに事が進み、人脈豊かな人格者となる。

(真実に生きる、ひかり80号より)

# ぶし眞教法話

会長 田中庸仁  
た なか つね ひと

◇ びよんちゃん平昌オリンピックに見る日本人の民度

平昌オリンピックでの日本人選手の大活躍に日本中が沸き立ち、名場面にたくさんの方の勇気と感動をもらいました。メダル獲得の有無にかかわらず、選手たちのコメントに心豊かな日本人の民度を感じました。

今から四十六年前、1972年に開催された札幌オリンピックは、日本初の冬季オリンピックであり国を挙げての盛り上がりでした。

特に印象的であったのは、七十メートル級ジャンプで、笠谷、金野、青地の三選手が金、銀、銅のメダルを独占し、日の丸飛行隊と称えられ日本中が大歓喜に包まれました。インタビューでは「国のために頑張りました」とコメントしました。

十四年前、2004年のアテネオリンピックでは、水泳の北島康介選手が100メートル、200メートル平泳ぎで金メダルを獲得し、レース後のインタビューでは、この年の流行語大賞にもなる「チョー気持ちいい」の名言を残

しました。この頃の選手たちは皆「オリンピックを楽しんできまーす」と自分のためでした。数年前には「自分へご褒美」という言葉が流行りました。

今回のオリンピックでは、どの選手も「支えて下さった皆さんに感謝でいっぱいです」というコメントでした。ジャンプの高梨沙羅選手は「結果的には金メダルではなかったのですが、皆さんに感謝でいっぱいです。銅メダルが誰かのお役に立てばうれしいです。」と人の喜びのためです。

選手のコメントが「国のため↓自分のため↓皆さんのため」と変化して来ています。選手に代表される日本人の民度が高まって来ていることをうれしく思いました。

信仰の段階も同様です。最初は、家のため、家族のため、悩み事解決の念願成就から始まります。これを「声聞しょうもん」の段階といっています。

次は自分の心の充実、自分磨きの信仰となります。人を教えに誘ったり、伝えたりすることはなかなかできませんが、自分だけは独ひとり教会にお参りし、自宅での読経供養はしている段階です。これを「縁覚えんかく、独覚どっかく」の段階といっています。

その次は、人様の幸せのために教えを伝え、困った人がいれば放っておけず、

教えにお導きをする。これを「菩薩」の段階といます。

法華経はこの菩薩を教化し、育てる教えです。そしてすべての人が「仏さま」を目指して修行する「一仏乗」の教えなのです。若いオリンピック選手のコメントに、日本人の民度の成長を感じます。

目的	気持ち	信仰段階
①国、組織のため、 家のため	・日の丸飛行隊 ・誇りと使命	・声聞
②自分のため	・楽しんできます ・自分にご褒美	・縁覚 ・独覚
③みんなのため、 人のため	・感謝 ・皆さんのお陰様	・菩薩



一**仏**乗  
いちぶつじょう

(真っ直ぐに仏を目指す)

### ◇変化の受け止め方

反面、平昌オリンピックでの日本人選手の活躍に、国中が感動の熱気に包まれている一方で、オリンピック四連覇を成し遂げた伊調馨選手へのパワハラ問題でレスリング協会が揺れています。

信頼していた子弟の間に、なぜ亀裂が生じたのでしょうか。

九紫火星の今年は、紛争や争議、刑事事件など裁判沙汰の事件が起こりやすい年なのです。この世は苦の娑婆といって、苦は無くならないのです。お悔み（苦止み）といつて、死んだ時にだけ苦は無くなるのです。

法華経は「拔苦与楽」の教えです。つまり苦から逃れようとするのではなく、苦と向き合い、どう受け止めるかによつて、苦を苦と感じないようにする智慧なのです。

世の中の真理を知れば、目の前の現象に右往左往することはありません。「諸行無常」世の中は変化し続けるのが真理です。その変化を受け入れなければ「苦」が生じ、前向きに受け入れれば、「楽」となるのです。

#### ◇執着が苦の本となる

つまり、いつまでも同じ状態でいたいという執着が苦の本になります。伊調選手は、常にトップを目指し、強くなるには同じ所に居ては成長しないと判断して、師匠の栄コーチの元から離れ、東京に出たのだといわれています。そうだとすれば、まさに「変化」なのです。

子育ても同様です。子供も年齢とともに親から離れて行き、親の意のままにはなりません。それを成長と受け止めれば楽となり、反発と取れば苦となるのです。同じ変化でも天と地ほど結果が変わってしまいます。

#### ◇相手を生かせば生かされる

私が小学校一、二年生の頃、開祖さまは布教の傍ら書道塾を開いておられました。毎週土曜日に小学生から社会人に至る大勢の生徒さんが学びに来られ大変賑わっていました。開祖さまは、一人一人の作品を添削されたり、お手本を書いております。

ある時、何年も開祖さまの下で修業してこられた社会人男性のお弟子さんが、展覧会に出品する作品のお手本を書いてほしいとお願いされました。

すると、開祖さまはちよつと思案され、こう申されたのです。

「○○さん、あなたは長年私の下で修業され、大変上達してこられ、私とほぼ同等の腕前になりました。もう私はあなたのお手本は書けません。これ以上上達するためには、もっと上の先生に付くことが大切です。日展書道家である私の師匠を紹介するから、これからはその大先生に付いて修業してください」



とお弟子さんの更なる上達のために開祖さま自らが推薦して送り出されたのです。その後、大師匠の下で腕を磨かれ、多くの展覧会で賞を取られ、書道では開祖さまを超える存在となりました。

何年か後、この紳士はご夫婦揃って開祖さまを訪ねて来られ、「今日あるのは開祖さまのおかげです」と感謝の気持ちを伝えるに來られました。

書道の世界で自分を越える活躍をするようになった弟子の成長と成功を開祖さまは大変嬉しそうに微笑まれておられた姿が印象に残っています。

親以上に成功した子、師匠や先輩を越えて活躍する弟子や後輩をほめたたるることのできる人は、立派な目上でありましょう。

また「恩知らずは乞食の相」というように、どれだけ成功し、親や師を越えてもその恩を忘れない人こそ真の成功者といえましょう。

師長の恩を忘れず、また後進や弟子の成功を称えられる人の人生は穏やかで安心立命の人生が送れるのです。

変化を受け入れ、執着のない人生を渡るか、自分を守る保身に生きるかによって人生は大きく変わります。どちらを歩むかはそれぞれの判断です。

# 今月の運勢（4月）

（2018年4月5日～5月4日）

## 一 白水星

新芽を出し活動の時。無から有を生み出す絶大なエネルギーが必要となり、想定外の苦勞もあるが乗り越えてこそ苦勞が喜びとなる。軽率な前進、急ぎ過ぎに注意。リーダーの助言を仰ぐとよい。

## 二 黒土星

発展上昇の時。行く手を遮るものはない。頂上を目指して前進し、目覚ましい伸長を継続するには経験豊かな人との出会いが要る。実力者との出会いがあれば何も心配いらぬ。

## 三 碧木星

勢いに乗って進んでき

たが、今月は小休止の時。力にあふれているが、行動することよりも腰を落ち着けて周囲の状況をよく観察しながらエネルギーを蓄える時である。

## 四 緑木星

目的達成を目の前にしてやや力不足。小さな願い事は叶うが、大きな事には時期尚早で準備不足。大それたことを考えると思わぬ障害に手を焼く。時間をかけて進めば、最後は目的に到達する。

## 五 黄土星

人との出会いや触れ合いにチャンスが現れます。積極的に家族や友

人との会食を持ちましょう。但し暴飲暴食や勢いに乗った散財に気を付けましょう。

## 六 白金星

変化の時。地位のある立場の者は世俗の喧噪や華やかさから離れ、悠々自適な時を過ごす時。下位の立場の者は正しい道を守るなら突き進めばよい。進退の決断に迫られる。

## 七 赤金星

今月は明るさと輝きが大切になる。家族や同僚と仲良く協力することが最も大切になる。しかし、馴れ合いになつて慎みを失えば争いとなるので注意しよ

う。裏で支えてくれる人があれば安心。

## 八 白土星

運気は低い。自分の未熟さや未開発の状態を自覚し、改めることに迷つてはいけない。何事も誠心誠意で事に当たること。虚心となり、自主的に努力すれば天は必ず答えを授ける。

## 九 紫火星

これまで続けてきた努力や功績が明らかにになり勢いよく昇進する。周りの人たちに認められ、多くの人が集まつてくる。太陽の明察さと台地の従順さを持つて我が道を進めば上位者の応援が得られる。

## しあわせ眼鏡

永遠に生きる方のように学べ  
明日死ぬ方のように生きる。

(マハトマ・ガンジー)

学歴より学力、人生死ぬまで  
勉強。学ぶ心があれば、どこ  
までも成長する。命懸けにな  
れば何とかなる。(真生会開祖さま)  
愚痴のない、力いっぱい毎日  
を過ごせば、悔いのない人  
生が送れる!!

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |          |           |  |
|----------|-----------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>TEL 058 - 235 - 7304       |
| 【所沢教会】   | 〒359-0037 | 所沢市くすのき台 1 - 9 - 5<br>TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】  | 〒454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10<br>TEL 052 - 351 - 3904  |
| 【岐阜教会】   | 〒500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19<br>TEL 058 - 262 - 9615      |
| 【大阪教会】   | 〒532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り  
します。詳しくはお尋ねください。

2018年3月10日発行 第151号(通巻256号)  
※誌代無料(献金・浄財による無料発行)